

## 「<資産運用コンサルティングのポイント Vol15 ～日経平均2万円はバブルだと感じる方のため の預金にかわるローリスク資産運用の始め方 ～前篇～>」



株式会社 ZUU の富田和成です。日本では、手堅い資産運用として、銀行の預金のみを行っているという人は多いです。ですが、大手銀行の平均金利は 2015 年 4 月現在 0.02%、100 万円を 1 年間預けていても利子はたった 200 円にしかありません。しかもその利子からも税金が引かれるため、ほとんど増えないと言っていいでしょう。

かといって、株式投資はリスクが大きく、よりリスクの低い資産運用方法を求めている人も少なくありません。そんな中、預金より遥かに金利が高く、株式投資よりリスクが低い資産運用の手段として人気の「社債」について見ていきたいと思います。

### ■社債とは何か？

企業が行う資金集めの方法の一つで、銀行から融資を受ける代わりに個人から資金を調達するシステムです。企業にとっては銀行から融資を受ける場合の利子より安く資金を集めることができ、投資家にとっては銀行の預金より高金利で資金を増やせることとなります。購入する際に期限と利子が設定されるため、資金計画を立てやすいというメリットもあります。

### ■個人向け社債の魅力

先にも述べたが、現在銀行の普通預金の平均金利は 0.02%、定期預金の場合でも 0.025%。100 万円を 1 年間預けて普通預金で 200 円、定期預金でも 250 円しか利子につかない時代です。

そんな低金利時代においても「個人向け社債」の平均金利は 1.5%、つまり 100 万円を 1 年間預ければ 15,000 円の金利がつきます。また、株式投資など確実性の高くない金融商品などと比べても、金利が確定している個人向け社債は、安定度やリスクの低さという点では優位性があります。低リスクで賢く資産を増やしたい場合に、個人向け社債は選択肢として考えるべき商品でしょう。

### ■社債の種類

社債にはいくつかの種類があります。それぞれの特徴をきちんと理解しておくことが必要です。

#### ・普通社債

期間と金利が設定されている社債を「普通社債」と呼び、一般的に社債と言え、これを意味することになります。信用格付けが低い社債ほど金利が高くなることが多く、リスクが高くなれば利益も高くなるという特徴があります。

#### ・転換社債

期間と金利が設定されている点は普通社債と同様ですが、「転換社債」は一定条件のもとで株式と交換することができるのが特徴となります。企業の発展に応じて現金もしくは株式での受取を選択できるため、株式投資にも興味がある投資家にとっては魅力的な社債といえるでしょう。

#### ・劣後債

社債を発行する団体の信用格付けが低い場合、その団体が経営破たんした場合投資家は元本も失うという非常に大きな損失を被ることになります。その代わりに経営が継続している場合に非常に高金利を保証するのが「劣後債」です。社債の中ではハイリスク・ハイリターンの商品となります。

#### ・ワラント債

通常の社債とセットでその会社の株式も購入できるのが「ワラント債」です。ワラント債を購入すれば、株式をある価格で買える権利がついてきます。「新株予約権付社債」とも呼ばれます。

以上、前篇の今回は個人向け社債とはいう部分を解説致しました。次回は、具体的に社債のリスクや実際に発行している企業の例などを見て行きたいと思います。

>>更に資産運用に関する情報を見られたい方はこちら。

<日税FPフォーラム>

税理士向け・新サービス提供開始。今後益々ニーズが増えると予想される税理士・会計事務所の資産運用コンサルティングを総合的にバックアップする《日税FPフォーラム》の提供を開始しました。詳しくは下記ページをご参照ください。

<http://www.nichizei.com/fpforum.html>

<著者プロフィール>

富田和成 株式会社ZUU 代表取締役社長兼CEO

[http://zuu.co.jp/company/ceo\\_message](http://zuu.co.jp/company/ceo_message)

大学在学中にソーシャルマーケティングにて起業。2006年に一橋大学を卒業後、野村証券株式会社に入社。支店営業にて同年代のトップセールスや会社史上最年少記録を樹立し、最年少で本社の超富裕層向けプライベートバンク部門に異動。その後シンガポールへの駐在、ビジネススクール（金融商品の組成、マーケット・企業分析、ポートフォリオ理論、オルタナティブ投資などを学ぶ）への留学やタイへの駐在などを経て、本店ウェルスマネジメント部で金融資産10億円以上の企業オーナー等への事業承継や資産運用・管理などのコンサルティングを担当。2013年3月に野村証券を退職し、「金融×IT」で時価総額100兆円を超える世界一の企業を創るべく、株式会社ZUUを設立。設立から約1年半で10種類の金融・経済関連メディアを立ち上げ、配信先含めて月間1,000万アクセスを超える日本最大級の金融・経済サイトへと成長させる。月間2万人を超える資産アドバイザーが訪問する専門サイトZUU Advisors Supportを運営するなど専門家向けのサービスも行っている。

参考：ZUU Advisors-Support： <http://support.zuoadvisors.com/>

：ZUU online： <http://zuuonline.com/>

◇今後のメルマガをより良い物とするために下記のページより皆様のお声をお聞かせ下さい。

<http://www.nichizei.com/fp-enquete.html>

#### メルマガ執筆者募集のお知らせ

税理士FP実務研究会事務局では、FP実務に関する様々なテーマでメルマガの執筆をしていただける方を募集中です。分野・テーマ等は自由です。最近の相談事例や得意分野など、ぜひ寄稿ください。執筆を希望される方は、税理士FP実務研究会事務局【㈱日税ビジネスサービス 総合企画部】までご連絡ください。TEL 03-3340-4488